

検定&資格を選んで、学んで、活かす！

セラピスト力の 高め方

数あるセラピーの検定と資格は、賢く選んで上手に活かせば、セラピストとしての能力や知識を向上させ、サロンの収益も上げてくれます。
第一特集では、こうしたセラピスト力を高めてくれる検定や資格の選び方、学び方、そして活用方法を、全国のセラピストを取材し紹介します。皆さんが今、お持ちの資格に何が必要か、そして、どのようにキャリアアップすることができるのか、その方法と道筋が明確になるでしょう！



aroma & herb

アロマ&ハーブ



Body work

ボディワーク



Psychological counseling

心理



beauty-treatment

ビューティー

Part1

☆ 資格取得その前に、これだけは知っておきたい！ セラピスト7つの一般常識

ボディワーク、心理カウンセリングからヒーリングまで、セラピーの資格と検定はさまざまありますが、セラピストであれば知っておきたい「共通の常識」を7つピックアップしました。文◎小松ゆり子

Question

1

「ホリスティック」って
どういう意味なの？

症状の裏にはさまざまな
原因が隠れている！

ホリスティック (Holistic) とは「全体的」を表すギリシャ語「ホロス (holos)」を語源とする言葉です。whole (全体)・heal (癒す)・health (健康)・holly (聖なる) などこの「ホロス」から派生したのですが、いずれもセラピストには縁が深い言葉ばかりです。仏教で言うところの「心身一如」は、

心と身体はつながっていて不可分であることを表す言葉ですが、これも「ホリスティック」の概念に近いと言えます。

クライアントの健康について考えていく時には、心と身体つながりやその背景に想いを馳せ、その人全体を見る必要があります。例えば「肩凝りがある」など、その表面的な主訴はシンプルであつたとしても、その症状にはさまざまな原因が推測されます。心理

的なプレッシャーからの筋緊張かもしれないし、パソコンの使いすぎが原因、あるいは子どもをずっと抱っこしていたのかもしれない、そしてその全ての可能性もあります。

「ホリスティック」なスタンスでセラピーを行う場合は、その手法が何であれ、対処療法的に対応するのではなく、クライアントを構成するものを全体的に見て、それらのつながりを健全なものにしていくことを試みます。

Profile

小松ゆり子さん

こまつ ゆりこ Touch for World 代表。パーソナル・セラピスト・日本タッチ協会理事。音楽業界からセラピストへ転身。「ヴァイタル・タッチセラピー」を提唱し「身体性」を取り戻す施術やセミナーを開催している。



クライアントの心身の状態から周りの環境まで「全体」を観察することで、ホリスティックなセラピーが実現する。